

お元気ですか日本共産党村議の

川崎あつ子

(かわさき 篤子)



2010年 12月 26日 43

ご相談はお気軽にお寄せください

〒319-1106 東海村白方284-1

TEL/FAX 029-282-0229

atsuko-k@car.ocn.ne.jp



陽だまりに咲くばら

新しい年を、迎えるにあたって、なにかとあわただしい日々になりました。

私たちのアンケート調査では、半数以上の村民の方が暮らしが苦しくなったと

答えています。12月の定例議会は、15日終了し、一般質問は6項目を取り上げました。村長提出議案22件については、日本共産党は、2件に反対しました。

### 一般質問

#### 1. TPP(環太平洋経済連携協定)問題について

「これは、農民だけの問題ではない国民全体に係る大変な問題だ。難しく分からないなどと言ってはいられない。『TPPには参加しない』と村からも国に要請することが大切だ。村は真剣に考えてもらいたい」という村民から強い声が寄せられ、村長にただしました。

村長は、「耳に新しい言葉で、私自身の考えがぴしっと決まっている訳ではありません」と前置きしつつ「(菅内閣は)TPPに参加して、日本の工業製品の競争力を維持して行きたいといっている様ですが、一番ダメージをうけると言われているのが日本の農業であるわけです」と批判する一方で、「自由貿易を全部否定して関税消費を高くして身を守るのもダメだろう。TPPになったら、日本全体が壊滅的打撃をうけるなどと言うことは、あまり説得力ないのではないかな。もっともっと議論する必要があると思う」と村から国に要請する立場には立たない答弁となりました。

私は、村は、「食料主権」を保障する貿易ルールをつくり、農林漁業を真に再生させるためにも、「TPPに参加すべきではない」と国に求める必要があることをかさねて強調しました。

#### 2. 環境支払い制度の実現に向けて

(答)第5次総合計画でかなり体系的に取り組んでいきたい。

#### 3. 後期高齢者医療制度の問題について

(答)なお一層の議論が必要。

#### 4. 住宅リフォーム助成制度について

(答)現状と課題について洗い出し、検討する。

#### 5. 療育手帳Bへの医療費助成について

(答)ひきつづき検討課題とする。

#### 6. 原電の耐震安全性評価最終報告について

(答)原子力安全委員会の評価をうけた後、取りまとめ、国に報告すると原電から聞いている。



### 条例2件に反対

「東海村職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」2件については、「急激な円高とデフレで日本経済が危機に直面しているもとでは、雇用や社会保障を充実させて国民のふところを温めることこそ求められています。

村職員の生活に深刻な悪化をもたらす賃下げは、民間労働者へも大きな影響を招くこととなります。内需拡大に逆行し、地域経済を一層冷え込ませる賃金削減のマイナス連鎖に拍車をかけることになる」などの理由を述べて日本共産党議員団は反対を表明しました。

### TPP参加は経団連の要求

日本共産党は、自由貿易全体には反対していません。今はグローバル化で自由貿易は当然。日本は、「鎖国」どころか「世界で最も開かれた国」の一つになっています。農水省が明らかにした日本の農産物の平均関税率は11.7%、EUは19.5%です。

しかしこの国でも、自分の国の主食、基礎的な品目については高い関税をかけて守っています。欧米では、牛乳や乳製品に、日本のお米のような大事な品目に、高関税をかけて守っています。日本では、外国との諸条件の違いによる生産性格差を、米は精米ベースで778%（農水省試算）と、かなり高い関税などの国境措置で調整し、外国産品無制限の流入を防いできました。

小麦・大麦は252%、バターは482%、砂糖325%です。そして農業自給率を高める。いま世界中の食料が逼迫（ひっぱく）して飢餓や貧困が深刻になっています。その時に自給力がありながら、それを壊していくという政治というのは間違っています。このTPPに日本が参加することは、結局日本との2国間FTAなどが進まないアメリカ、オーストラリアの農林水産物輸出大国に門戸を開いてやろうということです。日本でTPPへの参加をもっとも強く求めているのは、「日本経団連」といわれています。なかでも自動車、電機などの「輸出大企業」です。

そのごく一握りの輸出大企業のために、日本を売り渡す政治「売国の政治」でいいのでしょうか。私たちの暮らしを壊すTPPへの参加はやめるべきです。

【バックナンバーは 川崎あつ子検索でお読みいただけます】